

はなみずき

2021年(令和 3年) 12月号

「高輪築堤」 ちくたい

麻布慶福苑では、感染予防対策の効果もあり、入所者様の感染者もなく、少しずつ落ち着いた着きがみられてきているように感じています。このまま、第6波が来ないことを願っています。

さて、今回の話題は、私が、生まれて、育つて、小学校、中学校も卒業して、仕事もしていた「街」港区の西の端、「高輪」の話題です。

「汽笛一声新橋を、はや我汽車は離れたり、愛宕の山に入り残る、月を旅路の友として」の鉄道唱歌で歌われている東京二三区では一番高い標高25・7メートルの「愛宕の山」の話題を平成二七年一〇月号の「はなみずき」に掲載しましたが、その我が国初の鉄道が新橋(現・汐留)から一つ目の品川停車場までの間の高輪の海の上に線路を敷設するために築かれた鉄道構造物が「高輪築堤」です。

その昔、高輪あたりは、海がすぐそばにあり江戸の浮世絵には高輪大木戸(江戸の南の出入口)の向こうには海が広がり何艘もの小舟が帆柱を並べている景色が描かれ、明治の錦絵には堤の上を汽車が行き来する姿が描かれていました。鉄道はそんな海上に石垣を整然と積み土台を作ったものですが、その後の埋め立てで所在が分からなくなっていたものです。

2020年東京オリンピック前の開業を目指して完成したJR「高輪ゲートウェイ駅」の西側の再開発で出土され再び姿を現し話題となりました。

この高輪築堤が完成したのは鉄道が開業する一か月前の明治五年(一八七二年)九月と言われています。ギリギリに完成したよ

2021.11.14



ご入居者の作品



うですね。現在では、何年も試運転など繰り返して安全を確認してから開業するものですが、鉄道といった煙をはいて走る鉄の塊でさえ不思議だった明治の文明開化の時代では、なんとも疑問を感じないものなのでしようか。

今後、考古学・鉄道史などの有識者で構成された検討会で、築堤の調査・保存の方針をとりまとめ、約一五〇年前に構築された高輪築堤を移築・保存し、次世代に継承できるように公園として整備して、二〇二四年度に完成することなので楽しみにしています。

施設長 鈴木英二

文化祭を終えて

11月14日(日)文化祭を開催いたしました。去年と同様に規模を縮小し、1階デイルーム及び会議室を利用し開催いたしました。利用者様に展示してある手作りのフレーム付写真を探していただきプレゼント(後日、各居室に貼らせていただきます)箱の中身を当てていただく、箱の中身は何だろうゲームと宝探しゲームを会場に用意しました。

ゲームに挑戦していただいた利用者様にはハズレなしの景品をプレゼント!!利用者様には手で直接触って、中身の物は何なのか感じていただく。宝さがしゲームは箱の中にある当たりカップセルを探す。ご自分で感じ、ご自分で探すことで自己意欲をもっていただけだと思えました。また1年間通してクラブ活動にて作成していただいた習字の作品や陶芸の作品を展示して皆様に見ていただきました。3階の利用者様からは個人で制作していただいた作品を展示しました。その作品のクオリティーの高さには驚くばかりでした。去年と一緒に頑張ってしまいましたが似顔絵コーナーも設置しました。始めての試みで9パーツの塗り絵をしました。3階利用者様合同作品として展示いたしました。施設長をはじめ兒玉相談員、赤星相談員、当日勤務していた職員、そして文化祭を担当していた余暇委員のメンバーのご協力があり無事文化祭を終えることが出来ました。来年も利用者様が喜んでいただけるよう全力で頑張りたいと思います。本当に有難うございました。

岡安

新人職員紹介

11月1日から二階に配属されました。よろしくお願ひ致します。

以前は岐阜県の特養に約2年半勤め、子供の進学に伴い退職して船橋市と一緒に引越してきました。

出身は東京都昭島市ですが小学校から結婚するまで名古屋に住んでいたため、ほぼ名古屋人です。

今までの仕事は銀行員・美容部員・事務職で福祉関係とは接点がなかったのですが、友人に誘われたボランティアに参加したので、をきっかけに介護職を志しました。

3月に引越してきてから10月まで半年間は実務者研修を取得する為学校に通っていたので、そのクラスメイトと今も励ましながら日々頑張っています。

趣味や特技などは特にないのですが、甘い物が大好きなので休日にはよくお菓子を作っています。

でも食べ過ぎてしまうので・・・何か趣味を見つけないかと思っているところです。

何かおすすりめありましたら教えて下さい。仕事はまだ思うように動けずご迷惑お掛けしてしましますが、一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

長谷部

足湯クラブ



料理クラブ



紅葉バスハイク



紅葉バスハイクに行ってきました。

11月第2週、4週の水曜日(10日、17日、24日)に紅葉バスハイクに行ってきました。昨年と比べるとコロナ感染者数は落ち着いていましたが、今回も車窓から眺める形となりました。

参加された利用者様は車窓から秋の訪れを感じていただきました。

ルートは六本木方面を経由して神宮外苑まで。

開催日は3日間とも天候に恵まれました。神宮外苑のいちょう並木は回を重ねる度に色付きが良くなり、24日は最高潮でした。少しづつですが、コロナ前の日常に戻ってきています。

来年は利用者様が車を降りて秋の訪れを感じて頂けるような状況になっていければ良いなと思います。

佐味川

ご入居者の作品



宝探し ゲームコーナー



発行者
社会福祉法人
恩賜財団慶福育児会
特別養護老人ホーム
麻布慶福苑
〒106-0047
東京都港区南麻布5-1-20
TEL.03-3446-5501
<http://www.azabukeihukuen.com>

皆様からのご意見・ご感想をお寄せ下さい。お待ちしております。